

中国経済産業局長賞を受賞

小松電機産業 クラウド型リアルタイム表示で

小松電機産業(本社「松江市」の「クラウド型リアルタイム表示」(特許第6527660)が、公益社団法人発明協会が主催する令和2年度中国地方発明表彰の「中国経済産業局長賞」を受賞した。10月26日、松江市内のホテルで表彰式が行われた。今回の受賞は、スマートフォンやパソコン、タブレットなどの情報端末によって、インターネットからサーバー側センタ施設を経由して計測データを取得し、その結果をクラウド型でリアルタイム表示する情報監視システムに関するもの。同技術を用いた水の広域総合管理システム「やくも水神」は、上下水道をはじめとする施設の管理・制御をクラウド上でリアルタイムに行うことを可能とし、従来なかった新たなマーケットを開拓。10月時点で全国470自治体・1万3000施設に導入、「遠隔地でも正確な監視ができる」と水管の二ノズに大きく貢献した。

式典では、来賓祝辞に立った経済産業省・洲上善弘中国経済産業局長が「(受賞は)豊富な発想力と弛まぬ研鑽によるもの。中国地域の発展に貢献する

ことはもちろん、わが国のイノベーションの後押しにつながる」などと述べた。また、7月に閣議決定された経済財政運営と改革の基本方針2020(骨太方針2020)について、社会および経済全体のデジタル化とその推進力となる人材育成、新たなイノベーションの加速化を推し進めるための知的財産の重要性にも言及した。

受賞者を代表して小松社長は「人類の脅威であるコロナ禍の渦中にあるが、この中海・宍道湖圏は丸と健康は一つという信念のもと、この縁結びの地を日本だけではなく世界の、ひいては人類の縁結びの地にする役割がある」と決意を述べた。併せて社員やさまざまな業界の支援に謝辞を述べ、「受賞を励みに一層精進したい」と結んだ。



謝辞を述べる小松社長



洲上局長に製品を紹介

同社が経済産業省の「地域未来牽引企業」として選定されていることもあり、発明表彰式に先立ち、この日の午前中には洲上局長らが同社を訪問。happy gate 門番やさまざまな制御盤などを視察し、「やくも水神」システムやその開発理念をつぶさに聞いた。また、「やくも水神」を中心に、同技術の開発担当者をはじめ、Zoom会議により参加した韓国・タイ・東京・福井・京都から具体的な報告を受けた。中でも国・県・市・町が一体となって取り組んできた日本最大級、国営・県営事業を合わせて総事業費約2000億円の国営九頭竜川下流域農業用水パイプライン事業における「やくも水神」採用事例報告では、リアルタイム監視の二ノズが議論された。

洲上局長は「さまざまなアイデアや知見を関係者と共有していきたい」などと今後の展開に期待を寄せた。